

薬用植物園だより

2024年

2月

春を告げる椿、美しくても毛虫に注意！ ヤブツバキ(ツバキ) (ツバキ科)



Camellia japonica Linné

部位	種子
生薬名	椿油 (ツバキユ) 局方収載
成分	脂肪油 (オレイン酸) 花：サポニン (camellioside 類)
用途	頭髮香油や軟膏基剤
漢方	利用されない

日本原産で、北海道を除く日本全土と朝鮮半島、台湾に分布する常緑小高木。花期が2月から4月頃までと長く、つつましく、質素な美しい花です。春を告げる木として「椿」という漢字が作られました。因みに秋を告げるのは「萩」となっています。近年は、海外で育種された品種も加わり、いつの間にか華やかな花をつけるものが多くなりました。日本原産としては、ユキツバキ *Camellia rusticana* やサザンカ *Camellia sasanqua* もあります。ツバキは花全体が落下するのに対して、サザンカは花びら一枚一枚が散ります。キャンパス内でも観察出来ます。しかし、チャドクガという毛虫が大発生することがあり刺されると発熱する人もいるので注意が必要です。園芸植物のイメージが強い植物ですが、古くから椿油などを利用してきた有用植物です。

フクジュソウ (キンポウゲ科)

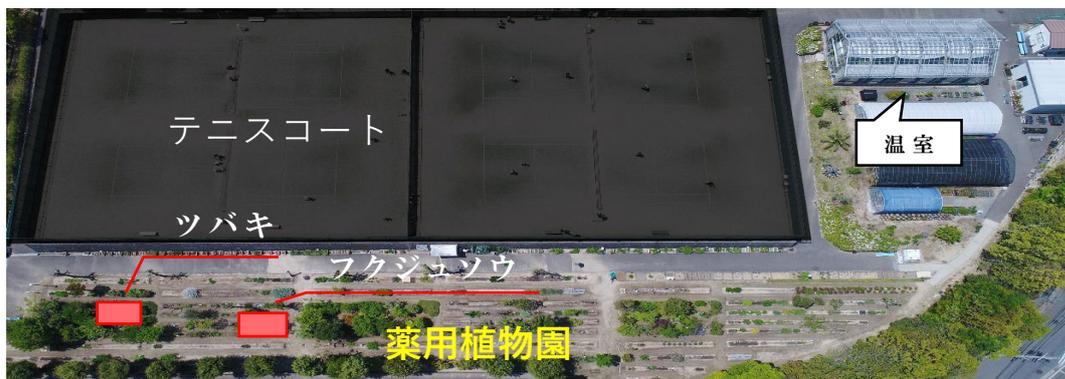
旧暦の正月を祝う花、でも危険な有毒植物！

Adonis vernalis Franch.

部位	全草および地下部 (根、根茎)
生薬名	全草：福寿草、地下部：福寿草根 有毒
成分	強心配糖体 (シマリン、アドニトキシン)
薬理	強心作用、利尿作用
漢方	利用されない



北海道、本州、四国、九州に分布する多年草で、2月ごろに蠟細工のような黄色い花を咲かせ、5月頃には地上部は枯れてしまい、来春まで地中で過ごします。このような儚さからスプリング エフェメラル (Spring ephemeral、春の妖精) と呼ばれ、カタクリなども同じようによばれています。一方、春を告げる事から「福告ぐ草」から「寿」が入れられ、「福寿草」となりました。旧暦の正月に開花するので元日草などの別名でも呼ばれ、縁起物として新暦の正月には温室栽培で開花させられたものが流通します。民間では、強心利尿薬として全草や地下部が利用されたようですが、毒性が強いことから、現在では利用されません。有毒植物として認識する方が大切です。



ホームページでも
ご覧いただけます